

令和7年度

保谷小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： **地域安全マップをつくろう・西東京市のすてきをしょうかいしよう**  
(活動名)

ねらい：  
・自分たちの行動範囲、移動の様子を知る活動を通して、危険な場所や安全な移動方法を理解し、地域の安全について自分たちで考え、自分の生活を安全に守ろうとする態度を育てる。  
・地域の特色を調べ、西東京市の魅力や大切にされている取組に気づき、調べた事実を整理し自分の言葉でまとめて発信する活動を通して、地域への関心と愛着を高め、よりよい地域づくりに主体的に関わろうとする態度を育てる。

## 地域安全マップを作ろう【2月】

自分たちが住んでいる地域（学校周辺、通学路、家の周辺）の危険個所を調べ、まとめる学習を行いました。この学習は、ソニーグループ株式会社と連携し行ったもので、『見守り GPS 端末』を使い児童が自分たちの行動範囲や移動の様子を知り、安全に過ごす方法を考える活動を行いました。



初回は、ソニーの方に講師に来ていただき、どんなところで交通事故が起こりやすいのかを話していただきました。また、自分たちの住んでいる町の中で、そういった危険なところがないか調べるために、児童に“研究員”となって活動してほしいという話があり、子どもたちは約2週間の間、『見守り GPS 端末』を使い、自身の登下校の様子などを記録しました。

調べた結果をまとめる際にも、ソニーの方に講師として来ていただきました。『見守り GPS 端末』を使った記録データを見せてもらい、その情報や児童の記録から、自分たちの行動範囲の中の危険なところについてグループで話し合いました。その後、話し合いで出された場所を学区域の地図にシールで貼り、なぜ危ないと思ったのか、危険を回避するためにどうすればいいのかを、学級全体で共有しました。



## 西東京市のすてきをしょうかいしよう【3月】

自分が住んでいる町について児童が自分でテーマを決め、本やインターネットを用いて調べ、タブレットのスライドにまとめ発表しました。歴史や環境、公共施設など、様々なテーマの発表がありました。



## まとめ

地域の安全を調べる学習と、西東京市の魅力を探る学習を通して、子どもたちは自分の生活圏を客観的に見つめ、事実に基づいて考える力を身につけました。危険箇所や安全の視点を理解するとともに、地域のよさや人々の取組に触れることで、地域への関心と愛着が高まりました。